



施政方針を述べる小谷野市長

平成28年第1回定例市議会(会期:2月24日～3月17日)で、小谷野市長が平成28年度の施政方針を述べ、市政運営の基本的な考え方や重点事業などを述べました。その概要をお知らせします。

平成28年度市長施政方針 「狭山の元気を作ります」

第4次狭山市総合計画を策定 「情熱一番」をモットーに狭山市の発展に全力で取り組みます

私は、昨年7月、市民の皆さんと力を合わせて全力で市政に取り組み、「狭山の未来を守る」ことを約束し、第6代の狭山市長に就任しました。就任以来、狭山のまちを愛し、明るい未来を信じて歩んでいる、多くの市民の皆さんと触れ合う機会をいただく中で、私の使命は、狭山を愛する皆さんと力を合わせ、協働し、さらなる発展を目指していくことであると改めてお誓いいたします。

振り返りますと、狭山市は、昭和29年に人口約3万人からスタートし、武蔵野の緑豊かな住宅都市として、また、県内トップクラスの工業都市として、発展してまいりました。しかしながら、今日、これから本格的に到来するであろう「まちと人の高齢化」「人口減少社会」という、避けることのできない課題に、私たちは直面しております。

今こそ変革の時です。未来を信じて、総力を挙げて、狭山の元気を作ってまいります。

すでに、国や県の取り組みを参考にしながら、「狭山市人口ビジョン及び狭山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定作業を進めてきたところであり、加えて、本市の今後10年間のまちづくりの基本的な指針となる「第4次狭山市総合計画」を策定いたしました。

この総合計画の前期5年間の基本計画には、ひとについては「若い世代を増やす」、まち、しごとについては「まちと産業に活力を」、健康長寿としては「楽しめる健康高齢社会を」、協働としては「市政運営をみんなの力で」を重点テーマとして位置づけました。多くの施策を盛り込んでいることから、国の施策とも連動しながら、スピード感を持って、これらの施策を着実に推進してまいります。

歳入については、市民税は働く世代の人口減少や税制改正による法人税割の税率引き下げなどにより減収を見込みましたが、固定資産税、都市計画税、地方消費税交付金及び地方交付税は増額となりました。さらに、国庫支出金は減額、県支出金は増額となりました。寄附金は、財源の確保及びシティブロモーションを目的として、4月1日から、ふるさと納税への寄附金額に応じた返礼品を贈呈する事業をスタートさせることから増額としました。繰入金は、経常的な経費の削減に努めるとともに、事業の選択と集中を図り、減額としました。

歳出については、都市計画道路などのインフラや市営住宅、公民館などの整備に必要な経費を確保したほか、若い世代への子育て支援策として、妊産婦・新生児訪問の充実、学童保育室の保育時間の延長、子どもたちの学習支援策として、長期休業期間などを活用しての中学生の学習支援に重点的な予算配分を行った結果、一般会計の予算額は、前年度対比0.8%減の44.4億8千万円となりました。(8～9ページ参照)

平成28年度予算案の総括



《平成28年4月号の表紙》
狭山市をPRする漫画が完成しました

この漫画は、市の魅力や暮らしやすさを20代後半から30代後半の若者にPRするため作成したもので、「別冊さやま」創刊号として3月に発表しました。

制作には、実際に「狭山市」を感じてもらいながら市と協働で作りに上げるため「漫画家」を公募。新進気鋭の若手漫画家の世鳥アスカさん(写真右)が作画を担当しました。冊子は、A4判で12ページ。世鳥さんが、市の若手職員とともに、市内各地を訪問。緑が多く、子育てがしやすい環境が整っていることなどの魅力を発見し、狭山市での暮らしを勧めるというストーリーです。



今後は、近隣の住宅展示場や都内などで無料配布し、狭山市への定住を促進します。



小谷野市長のメッセージ

「狭山市は、若い世代に『選ばれたまち』を目指し、メッセージキャラクターであるマンガを活用して『狭山市の魅力』を発信します。まちの活力の源は『人』であり、なかでも『若い世代の力』が、これからの人口減少時代においては不可欠です。この『別冊さやま』も、狭山市の若手職員が作者選考から作品内容まで中心的に携わりながら、世鳥アスカさんと一緒に作り上げたもので、若者のエネルギーが凝縮した一冊です。

同じ世代の方々には、ぜひそのエネルギーを感じ、共感していただき、多くの『住みやすい魅力』を持つ狭山市を定住する場所を選んでいただくと期待しています」

●副市長に松本晴夫氏が就任

平成28年第1回市議会定例会で同意を得て、4月1日付で松本晴夫氏(64歳)が狭山市副市長に就任しました。



松本氏は昭和49年に狭山市役所に入職。生涯学習部長、総合政策部長などを歴任した後、平成22年4月から狭山市教育委員会教育長を務めました。

●教育委員会教育長に向野康雄氏を任命

平成28年第1回市議会定例会で同意を得て、4月1日付で向野康雄氏(62歳)が狭山市教育委員会教育長に任命されました。



向野氏は昭和51年に狭山市役所に入職。生涯学習部長、総合政策部長などを歴任しました。

問合せ職員課へ内線3514

平成28年4月号のもくじ

- 3ページ 特集「平成28年度 市長施政方針」
- 7ページ 特集「ふるさと納税返礼品」制度がスタート
- 8ページ 特集「平成28年度当初予算」
- 12ページ ひと・まち・写真館、さやまりポート
- 14ページ さやまの教育・元気なさやまっ子
- 15ページ 「高麗郡建郡1300年」の記念事業
- 15ページ いきいき自治会、Zoom upどうぶつ園、市民リレー「私の宝物」、ハロー仲間たち
- 16ページ 情報ガイド、市民のイベント

- 30ページ 保健センター5月のお知らせ
 - 31ページ 5月の相談案内
 - 32ページ 残しておきたい狭山の風景、もぐもぐ sayama、Myなでしこ ASエルフェン埼玉、今月の写真クイズ、今月の納期、目で見るさやま
- 今月の市内同時配布物
さやま議会だより／社協だより「ふれあい」／地域福祉をはじめよう